

設計耐用年数10年を50年の新時代へ！

JERコンクリート補改修協会事務局長 藤井 茂雄



当協会は、170社（令和4年10月末）の企業・事業所・団体で構成されており、水インフラ施設の上下水道施設における、水槽内面のコンクリート腐食劣化要因を検証し防食技術の開発を担い、施工環境や現場ニーズに合わせた補修提案、専門技術者を有する会員による適切な施工管理と確かな品質を提供する専門技術者集団として、水インフラの資産価値創造に協力することで社会貢献を行っております。

水インフラの整備が整いつつある半面、現有施設の長寿命化対策も将来の課題として深刻になってきております。水槽内面の防食技術は、10年間の設計耐用年数が標準になっておりますが、私どもは設計耐用年数を50年に設定できる工法も所有しており、ライフサイクルコストの低減にご協力いたします。